

第 83 回九州循環器撮影研究会 抄録

『シーメンス血管撮影装置の回転撮影諸種』

シーメンスヘルスケア株式会社 矢野 喜照

Siemens Healthineers は、長年御愛顧いただいた血管撮影装置 Artis シリーズと並行して ARTIS シリーズを発表いたしました。此の ARTIS シリーズは、Siemens Healthineers の現在における集大成であり、未来への新たな出発点です。私共は、多様化するニーズ、時代の要請に応え、これからの医療の進化に貢献していきたいと考えています。今回は、この ARTIS シリーズにおける 3D 撮影機能を中心に、医療現場からの要望に呼応する形で開発された撮影プロコールを紹介します。

『3D イメージガイダンスの最新情報アップデート』

株式会社フィリップス・ジャパン 坂口 裕一

血管撮影装置における 3D イメージングは 2000 年代前半から販売が開始され、現在ではさまざまな診療科のインターベンションにて活用されており、血管内治療に欠かさないツールとなっている。今回、フィリップスにおける 3D イメージングを用いたガイダンスツールのアップデートとして、各診療科のインターベンションをサポートするガイダンス機能や当社における取り組みを紹介する。

『ザイオステーション REVORAS』

アミン株式会社 笛田 将馬

ザイオステーション REVORAS は、高度な画像処理と自動抽出により、医師や放射線技師の作業を効率化します。シンプルな操作性と高いアクセシビリティを備え、臨床での運用を考慮した画像の活用の特化しています。各モダリティからの情報を最適化し、術中のリアルタイム画像処理を実現します。新しい画像表現法「レンブラント」や「トランスペアレンシー」を用いることで、写実的な画像表現と構造物の正確な表示が可能となります。これにより、カテーテル治療の術前計画や手術シミュレーションでの効果的な利用が期待されています。

『当院におけるアンギオ装置専用ワークステーションの使いどころ』

福岡県済生会福岡総合病院 高武 佳代

当院における PHILIPS の血管造影装置 Allura Crality 付属ワークステーション、Interventional Workspot における使い所を紹介します。最初に頭部血管造影での 3DRA 画

像処理の手順と気をつけているポイントを説明します。次に腹部領域では Emboguide と XperGuide について説明します。当院では膿瘍ドレナージでも XperGuide を使用することがあり、その使い方を説明します。

『当院の画像手術支援の取り組み』

長崎大学病院 佐々木 尚也

Interventional Radiology(IVR)では血管撮影装置、治療デバイスの進化によりそれぞれの治療に適した画像抽出方法が求められている。また、近年は画像手術支援画像として放射線技師が CT や MR、血管撮影画像などマルチモダリティを融合させた 3D 画像を作成することで手術支援または診療・教育に提供している。本院は 3D 画像を積極的に作成してこなかった現状がありますが最近取り組みだしたワークステーションを用いての画像作成 (FlowDiverter 留置後) の画像を中心にその他術前画像も含め複数例、撮影方法から 3D 作成の基礎的な取り組みを紹介いたします。

『回転撮影による診療放射線技師としての術中画像支援』

佐賀大学医学部附属病院 尾形 学

当院では体幹部領域では SIEMENS 社製装置、脳血管領域では PHILIPS 社製のバイプレーン装置を主に使用している。近年、体幹部領域では CBCT ガイド下の手技もあり、脳血管領域では任意の希釈造影剤濃度で回転撮影を行うことが求められており、症例に応じた術中画像支援が重要になってくると思われる。今回、当院での回転撮影の流れ、装置付属のワークステーションでの画像再構成・画像表示方法や、手技毎の画像処理・表現の仕方など、当院における診療放射線技師としての術中画像支援を紹介していきたい。

"

『当施設での CBCT・WS の活用法』

久留米大学病院 山本 直樹

当施設では、1999 年に CBCT が撮影できる装置が導入し、現在いろいろな部位などで CBCT の撮影を活用している。CBCT での高解像度の画像を利用し、他モダリティとのフュージョン画像の作成や、CBCT より取得したサーフェスデータより STL ファイルを作成し、3D プリンタにて造形を行い、それを利用し手術支援など行っている。当院で行っている造影 CBCT 撮影時の工夫や、臨床支援について紹介する。